

夢に向かって

岱明中学校だより



学校教育目標

郷土に誇りをもち
夢に向かって挑戦する児童生徒の育成

No. 4

令和3年7月9日

文責：上田

●今年実施できました！ 「玉名荒尾中学校総合体育大会」

※学校ホームページにも掲載しています。

6月26日、27日(空手は19日)に行われた玉名荒尾中学校総合体育大会の結果です。

○男子バレー部 優勝(県大会出場)

○バドミントン部

女子団体 優勝(県大会出場)

ダブルス

亀野さん、亀野さん

優勝(県大会出場)

シングルス 西陽さん2位(県大会出場)

○柔道部

男子団体 優勝(県大会出場)

男子個人



三澤さん 優勝(県大会出場)

城川さん 2位(県大会出場)

田島さん 優勝(県大会出場)

松岡さん 2位(県大会出場)

金井さん 優勝(県大会出場)

女子団体

女子個人

大野さん 2位(県大会出場)

神保さん 3位

○女子バレー部 3位

○サッカー部 3位

○空手

男子団体戦 形、組手(県大会出場)

個人

伊藤さん 組手4位、形4位(県大会出場)

増岡さん 組手4位、形3位(県大会出場)

西村さん 組手3位、形4位(県大会出場)

目指していた結果には届かなかったチーム、個人もあったかもしれません。これは推戴式で話したのですが、一番大切なことは「自分に勝てたか？」ということだと思います。試合の途中であきらめたり、油断したり、審判や他の人を責めたりするようでは自分に負けたということです。そういうことが無くて、最後まで全力を尽くせたのなら一番大切な戦いで勝利したということです。

中には「自分にも負けた。」と思った人がいたとしても、その「負け」を「プラス」にすることが重要です。これからの人生の中で、「あの時の試合で自分に負けたからいい勉強になった。あれをきっかけに自分は良い方へ変わった。」と思うことができれば、価値ある中体連大会になったということでしょう。

いずれにしても、結果はともかく全員が一步でも二歩でも前進してくれたと信じています。

保護者の皆様も応援・ご協力ありがとうございました。さらに県大会に出場する選手の健闘を祈っています。

●1年生「生き方教室」

お子様の「将来の夢」は何でしょうか。まだはっきりとは決まっていなくても多いでしょう。決して「早く決めてください。」ということではありません。これからいろいろな人と出会い、いろいろな経験をしながら決めていけばいいことです。しかし、将来を考える姿勢を持つこと、言いかえるなら「夢に向かう気持ち」を持つことは生徒達に望みたいことです。これからも岱明中学校は様々な機会を通して、生徒たちの「夢に向かう気持ち」を育てていきたいと考えています。

6月10日に1年生を対象に実施した「生き方講話」もその一つです。本校の卒業生でもある書道家の徳村剛山様にご自身の書道家になるまでの経験や思いを語っていただきました。夢を持ち続けることの素晴らしさが感じられるお話でした。感想を讀んでみる様々場面が生徒たちの心に響いたようです。



●岱明中人権教育通信

「にんげん」～親子の触れ合い～

「にんげん」は、本校の小山教諭が発行しております。私自身も毎回考えさせられたり気づかされたりしています。その6月18日付け第9号には「親父の教え～桂小金治氏のお話～」が載っていました。「夢をもったら、努力の上に辛抱をする気持ちを持つこと。達成できたら自分一人の手柄にせず、周りへの感謝の心を持つこと。」が心温まる親子のやりとりとともに語られていました。自分の子育てはどうだったか思い返したところです。

●「分かる」は通過点 「できる」がゴール



授業で勉強したことが、その授業の終わりでは「なるほど分かった。」と思っても、しばらくするとわからなくなることがよくあります。これはまだ「できる」まで行けてないのです。実は「わかる」と「できる」の間には溝があります。この溝を埋める取り組みが必要です。それが「繰り返し練習」です。例えば自転車も、他の人が乗る姿を見て乗り方は分かって、実際に乗れるまでには何度も倒れながら繰り返し練習をします。あれと同じ理屈です。

機会がありましたら「よし！分かった。」と思ってから繰り返しがすごく大切だということをご家庭でもお話してください。